



TeamViewer

マニュアル

Wake-on-LAN

Rev 11.1-201601



目次

1	Wake-on-LANのバージョン情報	3
2	要件	5
3	Windowsのセットアップ	6
3.1	BIOSの設定	6
3.2	ネットワークカードの設定	7
3.3	高速 スタートアップを無効にする	8
4	Mac OS Xのセットアップ	9
4.1	ネットワークカードの設定	9
5	TeamViewerの設定	10
5.1	TeamViewer アカウントへコンピュータを割り当て	10
5.2	Wake-on-LAN via a TeamViewer ID in the network	11
5.3	Wake-on-LAN via a public address	12
6	コンピュータの起動	14
7	付録	15
7.1	Configure the router	15



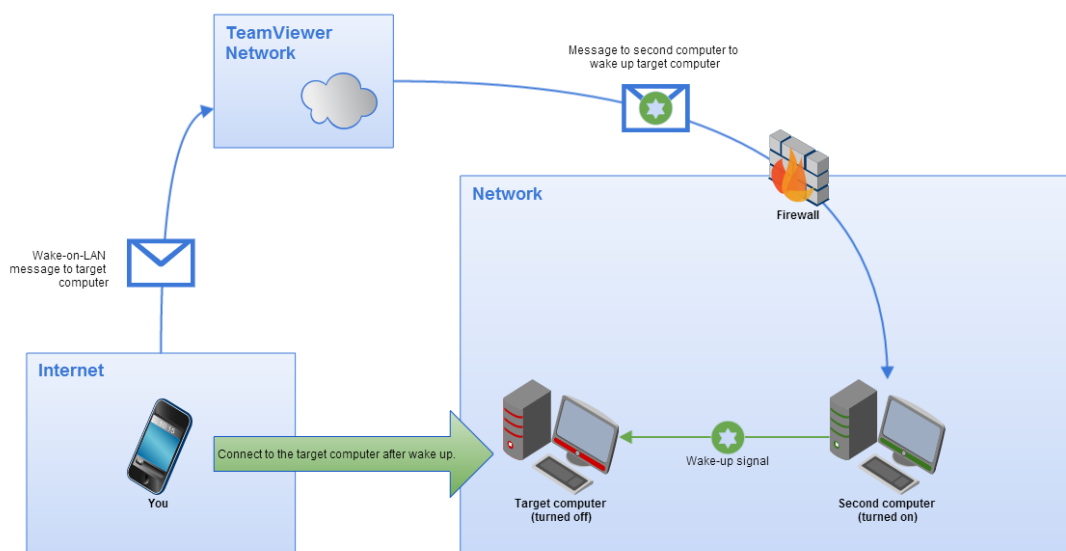
1 Wake-on-LANのバージョン情報

TeamViewerを使用してWake-on-LAN経由でオフィスコンピュータの電源を入れることができます。

接続を確立する前にリモートでオフィスコンピュータを起動して操作できます。

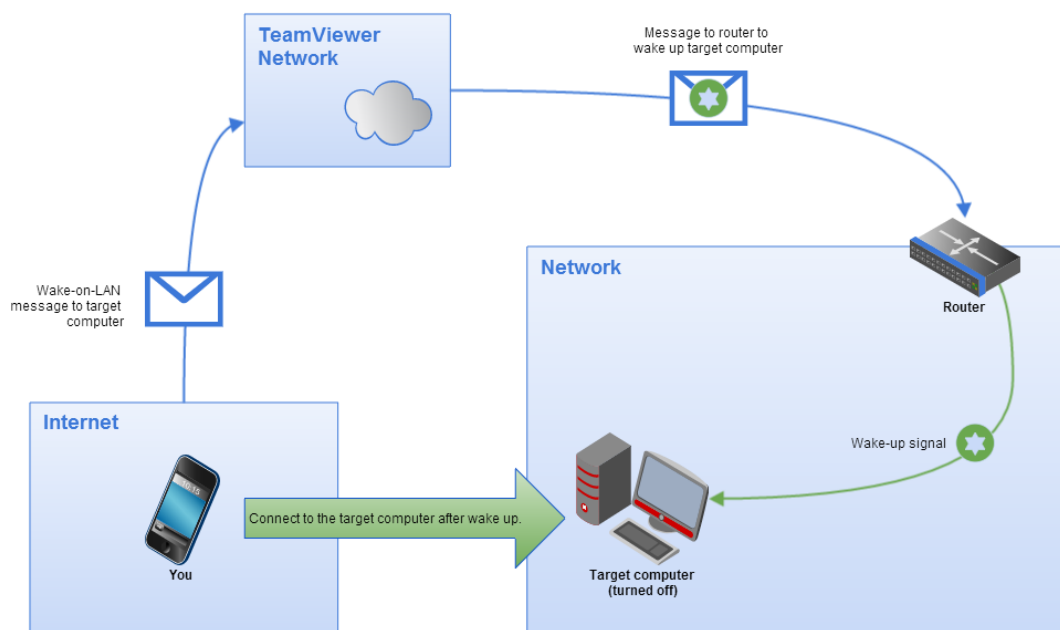
Wake-on-LANの使用方法は2通りあります。

- 同一ネットワーク内の他のコンピュータから対象のコンピュータを起動することがあります([セクション5.2 \(ページ11\)を参照](#))。





- パブリックアドレスからコンピュータを起動します(セクション5.3(ページ12)を参照)。



本マニュアルはTeamViewer Wake-on-LANを使用するための要件と手順を説明しています。

特に記述がないかぎり、ここで説明される機能はMicrosoft Windows版のフルバージョンのTeamViewerの機能です。

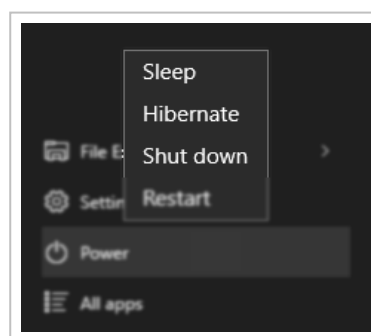


2 要件

Wake-on-LANでコンピュータを正常に起動するには、ハードウェアが以下の要件を満たしている必要があります。

以下の確認項目にて、コンピュータがWake-on-LANの使用要件を満たしているかを確認して下さい。

- 電源に接続されている。
- ネットワークカードがWake-on-LANに対応している。
- インターネットに接続されている。
- ネットワークケーブルにてインターネットに接続されている。
- コンピュータは以下の電力状態のいずれかです
 - スリープ[
 - スタート|スリープ]
 - 休止
 - [スタート|休止]
 - シャットダウン(ソフトオフ)
 - [スタート|シャットダウン](Mac OS Xでは対応していません)



対応している電源の状態

これらの要件を満たしている場合は、以下のステップでコンピュータとソフトウェアを設定します。



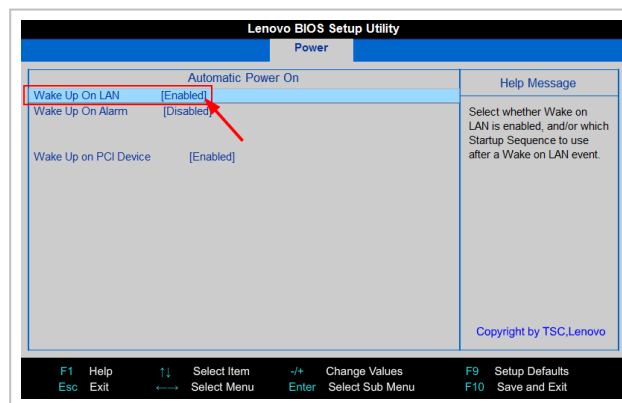
3 Windowsのセットアップ

コンピュータをウェイクするためには、適切にセットアップする必要があります。このために、コンピュータのいくつかの設定を調整し、TeamViewerを正しく構成する必要があります。

3.1 BIOSの設定

BIOSでWake-on-LANを有効する手順は以下の通りです。

1. コンピュータを起動します。
2. F2キー(またはこれに相当するキー)を押し、BIOSのセットアップにアクセスします。
➡ BIOSのセットアップが開きます。
3. [電源] タブを開きます。
4. Wake-on-LANオプションを有効にします。
5. BIOSのセットアップを保存して終了します。



BIOSのWake-on-LAN有効化

注: BIOSにWake-on-LANを有効にするオプションがない場合は、マザーボードのマニュアルにてWake-on-LANに対応しているかを確認してください。



3.2 ネットワークカードの設定

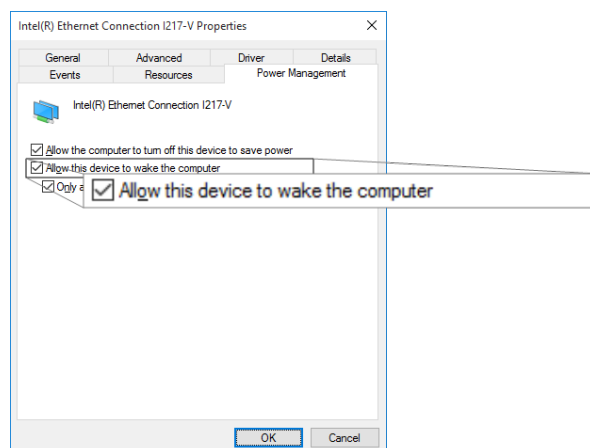
コンピュータのネットワークカードに常に電源が供給されている必要があります。これには、ネットワークカードのプロパティを調整する必要があります。

注: この設定には管理者権限が必要です。

注: ネットワークカードの設定はネットワークカードのタイプとオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。

WindowsでネットワークカードのWake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです。

1. コンピュータを起動します。
2. **[設定]**を開きます。
3. **[デバイス]**をクリックします。
4. **[関連設定]**で、**[デバイスマネージャ]**リンクをクリックします。
➡ **[デバイスマネージャ]** ウィンドウが開きます。
5. **[ネットワークアダプタ]**内のネットワークカードのコンテキストメニュー(右クリック)から**[プロパティ]**オプションを選択します。
➡ **[<ネットワークカード>のプロパティ]**ダイアログが開きます。
6. **[電源の管理]**タブを開きます。
7. Activate the **Allow this device to wake the computer** option.
8. これによりネットワークカードがWake-on-LANをサポート可能となります。



WindowsのネットワークカードのWake-on-LANの有効化

注: 手順のオプションが無効な場合は、最初に**[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]**を有効にする必要があります。



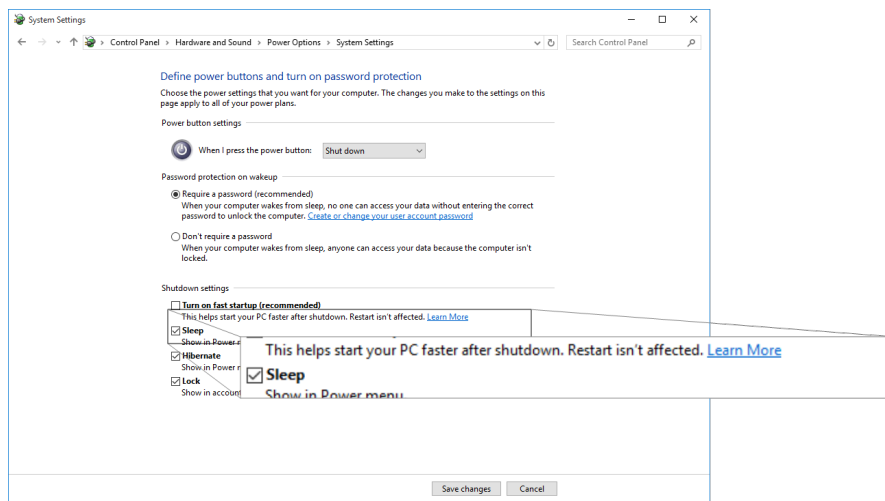
3.3 高速スタートアップを無効にする

Windows 8の標準のシャットダウンではコンピュータを"ハイブリッドシャットダウン"状態にします。Windowsはこの状態ではWake-on-LANに対応していないため、この高速スタートアップを無効にすることを推奨します。高速スタートアップが無効化されると、シャットダウン時は常に休止状態になります。

注: この設定には管理者権限が必要です。

Windows で高速スタートアップを無効化する手順は以下の通りです。

1. コンピュータを起動します。
2. [コントロールパネル] タブを開きます。
➡ [コントロールパネル] ウィンドウが開きます。
3. [システムとセキュリティ] をクリックします。
4. [電源オプション] 下で[電源の動作の変更]リンクをクリックします。
5. [現在利用可能ではない設定を変更します] リンクをクリックします。
6. [高速スタートアップを有効にする(推奨)] ボックスのチェックを外します。
7. 高速スタートアップが無効化されます。



Windows で高速スタートアップを無効化



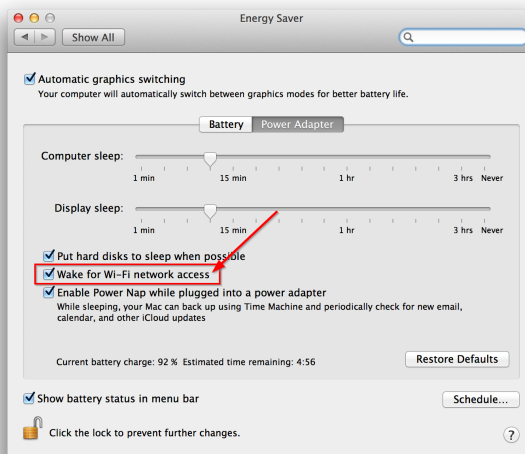
4 Mac OS Xのセットアップ

コンピュータのネットワークカードに常に電源が供給されている必要があります。これには、ネットワークカードのプロパティを調整する必要があります。

4.1 ネットワークカードの設定

MacでネットワークカードのWake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです:

1. Macを起動します。
2. [システム設定] を開きます。
➡ [システム設定] ウィンドウが開きます。
3. [省エネルギー] をクリック
4. [電源] タブをクリックします。
5. [Wi-Fiネットワークアクセスによるスリープ解除] オプションを有効にします。
6. これによりネットワークカードがWake-on-LANをサポート可能となります。



Mac OS Xでネットワークカード用のWake-on-LANを有効化



5 TeamViewerの設定

コンピュータを起動するには、対象の端末上でTeamViewerを設定する必要があります。本手順にて、TeamViewerを設定することでパブリックアドレスまたはネットワーク内のコンピュータからの起動が可能となります。

以下の確認項目にて、コンピュータ上のTeamViewerのWake-on-LAN設定を確認します。

- TeamViewerがインストールされている。
- コンピュータがTeamViewerアカウントに割り当てられている。
- TeamViewer Wake-on-LANが有効化されている。
- ネットワーク経由のWake-on-LANでは、起動するコンピュータのTeamViewer IDがTeamViewer Wake-on-LANオプションに入力されている。
- パブリックアドレス経由のWake-on-LANでは、コンピュータのパブリックアドレスがTeamViewer Wake-on-LANオプションに入力されている。

5.1 TeamViewerアカウントへコンピュータを割り当て

コンピュータが許可のない人物から起動されることがないように、コンピュータが自分自身に属することを確認します。TeamViewerアカウントにコンピュータを割り当てる必要があります。コンピュータにリンクされたTeamViewerアカウントのみウェイクすることができます。

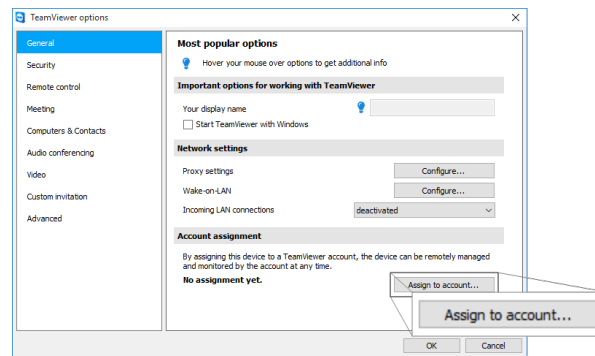
注: 起動されるコンピュータが共有グループにある場合は、グループを共有するすべてのTeamViewerアカウントはこのコンピュータを起動できます。

コンピュータをTeamViewerアカウントに割り当てる手順は以下の通りです:

1. コンピュータでTeamViewerを起動します。
2. メインメニューの[その他 | オプション]をクリックします。
➡ [TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [アカウント割り当て]下で[アカウントへ割り当て...] ボタンをクリックします。
➡ [アカウントに割り当て]ダイアログボックスが開きます。
5. TeamViewerアカウントの電子メールアドレスを[電子メール]テキストフィールドに入力します。



6. TeamViewerアカウントのパスワードを[パスワード]テキストフィールドに入力します。
7. [割り当て] ボタンをクリックします。
8. コンピュータがTeamViewerアカウントに割り当てられます。



TeamViewerアカウントへコンピュータを割り当て

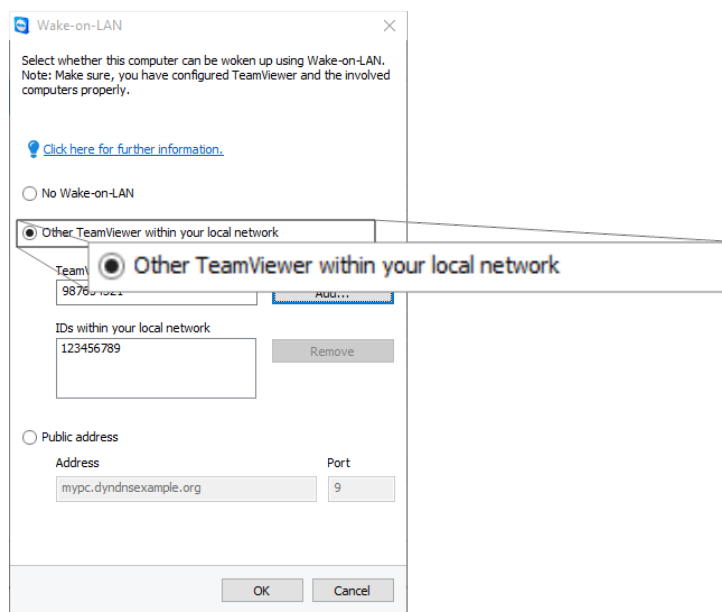
5.2 Wake-on-LAN via a TeamViewer ID in the network

コンピュータにパブリックアドレスがない場合、同じネットワーク上の他のコンピュータを使用して起動が可能です。対象となるコンピュータの電源を入れ、TeamViewerをインストールし、Windowsと同時に起動するよう設定します。

この場合は、TeamViewerオプションのネットワークからWake-on-LANを有します。次に、起動元となるコンピュータのTeamViewer IDを入力します。起動信号は、使用中のコンピュータから起動されるコンピュータへ送信されます。

TeamViewer IDからTeamViewer Wake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです:

1. コンピュータでTeamViewerを起動します。
2. メインメニューの[その他 | オプション]をクリックします。
➡ [TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [ネットワーク設定 | Wake-on-LAN] 下で、[設定...] ボタンをクリックします。
➡ [Wake-on-LAN]ダイアログが開きます。
5. [使用中のネットワークのTeamViewer ID] オプションボタンをクリックします。
6. TeamViewer ID入力欄に、起動信号が送信されるネットワークのTeamViewer IDを入力し、[追加...] ボタンをクリックします。
7. [OK]ボタンをクリックします。
8. 保存されたTeamViewer IDからコンピュータを起動できるようになります。





TeamViewer IDを使用しWake-on-LANを有効化

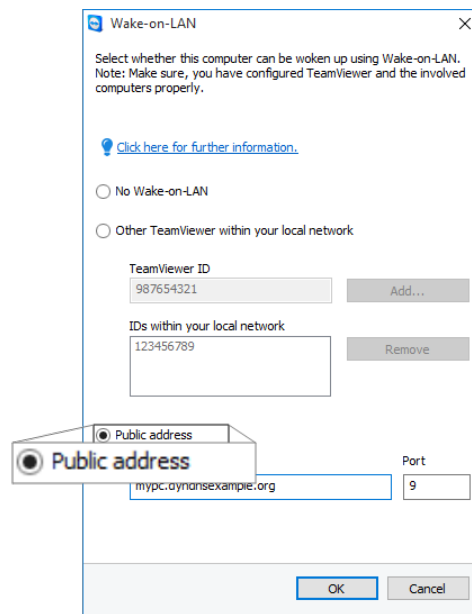
5.3 Wake-on-LAN via a public address

パブリックアドレスでコンピュータを起動したい場合は、常に使用中のコンピュータを識別できる必要があります。

これは、インターネットプロバイダ経由の固定、スタティックIPアドレスがあるか、またはダイナミックDNSプロバイダ (http://en.wikipedia.org/wiki/Dynamic_DNS参照) 等でコンピュータにアクセスが可能な場合となります。これらの条件が満たされた場合は、TeamViewerのオプションのパブリックアドレスからWake-on-LANを有効にすることができます。

パブリックアドレスからTeamViewer Wake-on-LANを有効にする手順は以下の通りです:

1. コンピュータでTeamViewerを起動します。
2. メインメニューの[その他 | オプション]をクリックします。
 [TeamViewerのオプション]ダイアログボックスが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [ネットワーク設定 | Wake-on-LAN] 下で、[設定...] ボタンをクリックします。
 [Wake-on-LAN]ダイアログが開きます。
5. [パブリックアドレス]オプションボタンをクリックします。
6. [アドレス]項目にて、固定IPアドレスまたはコンピュータのDNS名を入力します。
7. [ポート]フィールドで、コンピュータがアクセスされるUDPポートを入力します([セクション7.1 \(ページ15\)を参照](#))。
8. [OK]ボタンをクリックします。
9. パブリックアドレスとTeamViewer経由でコンピュータを起動できるようになります。



パブリックアドレスを使用しWake-on-LANを有効化



6 コンピュータの起動

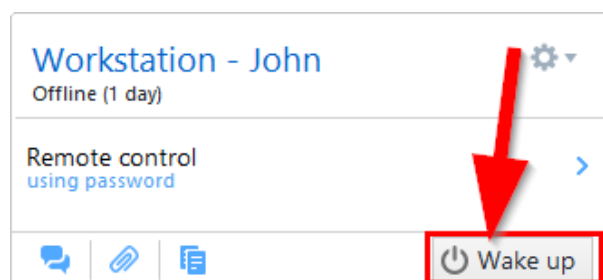
コンピュータが第の要件を満たしており、第 [セクション1\(ページ3\)](#) を参照、第 [セクション3\(ページ6\)](#) を参照 [セクション4\(ページ9\)](#) を参照 および [セクション5\(ページ10\)](#) を参照 第章の記述通りに設定されている場合は、他のデバイスよりコンピュータを起動することが可能です。

注意: 使用前の機能のテストが強く推奨されています。これによって緊急事態に備えることができます。

注: Windows、Mac OS X、iOS、Android、Windows Phone版のTeamViewer とTeamViewer Management Console を使用してコンピュータを起動することができます。

コンピュータを起動する手順は以下の通りです:

1. 既存のインターネット接続でデバイスを起動します。
2. TeamViewerを開きます。
3. TeamViewerアカウント内でコンピュータ&パートナーリストにログインします。起動したいデバイスをTeamViewerアカウント([セクション5\(ページ10\)](#)を参照)に割り当てます。
4. コンピュータ&パートナーリストから起動したいオフラインコンピュータを選択します。
5. コンテキストメニュー(右クリック)、**[起動]**ボタンをクリックします。
6. コンピュータが起動してコンピュータ&パートナーリストでオンラインとして表示されます。



コンピュータの起動



7 付録

7.1 Configure the router

ルーター上の設定は、[パブリックアドレス]オプションを選択した場合のみ必要となります。[使用中のネットワークのTeamViewer ID]を選択した場合は、本章の手順は不要です。

ルーターの設定は使用するデバイスとインストールされたファームウェアによります。必要な設定をサポートしていないデバイスもありますのでご了承ください。

ルーターのパブリックアドレスを経由したWake-on-LANをサポートするにはポート転送の設定が必要です。使用するルーターによっては、以下の設定のみサポートしている場合があります。

注: ルーターを設定の際は、必要に応じ製造元のマニュアルを参照してください。

7.1.1 ローカルネットワークのブロードキャストアドレスへのポート転送の設定

ローカルネットワーク内のすべてのコンピュータを起動するには、ルーターのマニュアルに記載の通りに、着信UDPポート(ポート番号9等)からローカルネットワークのブロードキャストアドレス(".255"で終わることが多い)にポート転送を設定します。この設定は、上記の指示通りに設定されたルーターのローカルネットワークのすべてのコンピュータを起動できるようにします。

使用例: ローカルネットワークが192.168.1.0およびサブネットマスク255.255.255.0で設定されている場合は、UDPポート9から192.168.1.255:9へのポート転送を設定する必要があります。場合によっては、ポート転送の宛先として".255"で終わるブロードキャストアドレスは許可されません。この問題はローカルネットワークのサブネットマスクを小さくすることで(255.255.255.128等)解決する場合があります、その場合はブロードキャストアドレスは".127"で終わります。

7.1.2 あるコンピュータへのポート転送の設定

ローカルネットワーク内のあるコンピュータを起動できるようにするためには、ルーターのマニュアル通りに、着信UDPポート(ポート番号9等)から起動するコンピュータのローカルIPアドレスへのポート転送を設定します。使用中のルーターが、コンピュータの電源が入っていない場合にもアクセスできることを確認します。そのためには、ARPエントリをルーターで保存して(ルーターの命令を参照)このコンピュータのMACアドレスに、起動するコンピュータのIPアドレスを表示します。このコンピュータが固定IPアドレスの場合(DHCPでない場合)、ルーターによっては適切なスタティックARPエントリを生成する場合があります。場合によっては、ルーターの設定メニューからスタティックARPエントリの適切なコンフィグレーションが取得できないことがあります。その場合はTelnetまたはSSHからARPエントリを設定できます。Fritzbox等の場合です。